

平成28年4月21日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会



## 議案

番号	件名	主管課
1	山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）	教育政策課
2	平成28年度山口県教科用図書選定審議会に対する諮問について	義務教育課

議案第 1 号

山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）

山口県教育委員会表彰規則（昭和61年山口県教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき、平成28年度教育功労者を次のとおり決定したので報告し、承認を求めます。

平成28年（2016年）4月21日

山口県教育委員会

教育長 浅原 司

永年精勤の部（表彰規則第2条第6号）

所属名	職名	氏名	勤務年数	備考
周南市立湯野小学校	教頭	上土井 香織	28年	平成28年4月3日 死亡退職

議案第2号

平成28年度山口県教科用図書選定審議会に対する諮問について

このことについて、別紙のとおり諮問する。

平成28年(2016年)4月21日

山口県教育委員会

平 2 8 教 義 第 \_\_\_\_\_ 号

平成 2 8 年 (2016年) 4 月 2 1 日

山口県教科用図書選定審議会長 様

山口県教育委員会

教科用図書の採択の基準及び選定に必要な資料について (諮問)

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律 (昭和 3 8 年法律第 1 8 2 号)  
第 1 1 条第 1 項の規定に基づき、下記の事項について貴会の意見を問います。

については、5 月 1 8 日 (水) までに答申願います。

記

- 1 義務教育諸学校における平成 2 9 年度使用教科用図書の採択の基準について
- 2 採択関係者に提示する平成 2 9 年度使用教科用図書の選定に必要な資料について

## 諮 問 事 項 の 要 旨

### 1 義務教育諸学校における平成29年度使用教科用図書の採択の基準について

義務教育諸学校の教科用図書の採択権者は、県教育委員会の指導、助言、または援助によって採択することになるので、これらの採択に関する事務が適正かつ円滑に行われるために、県教育委員会は、次の事項に関し一般的な基準を示す必要がある。

- (1) 義務教育諸学校の教科用図書（一般図書を除く）の採択について
- (2) 一般図書（特別支援学校・学級用）の採択について
- (3) 教科用図書の採択に当たり特に留意すべき事項について

### 2 採択関係者に提示する平成29年度使用教科用図書の選定に必要な資料について

一般図書（特別支援学校・学級用）は、文部科学省から示されている「平成29年度用一般図書一覧」に掲載された図書及び平成27年度に山口県で多く採択された図書のうち、近年研究調査されていないものの一部を対象に調査する。

対象とした一般図書について、諸種の角度から総合的に調査研究し、その特徴等を簡潔に叙述した「選定資料」を作成しなければならない。

したがって、次の事項について明らかにする必要がある。

- (1) 「選定資料」に掲載する一般図書及びその内容による分野について
- (2) 「選定資料」を作成するにあたっての調査研究の観点について
- (3) (2)の各観点における調査研究の結果について



# 義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について

## 1 義務教育諸学校で使用される教科用図書の種類

- (1) 文部科学省検定済教科書(検定本) →→→学校教育法第34条等により使用の義務
- (2) 文部科学省著作教科書(いわゆる星本) →→学校教育法第34条等により使用の義務
- (3) (1)(2)以外の一般図書(特別支援学校・学級用)
  - ・特別支援学校及び特別支援学級等において適切な教科書がないときに使用が許される。
  - 通常、知的障害などのための特別な教育課程を編成する児童生徒に対して使用され、絵本などが選ばれることが多い。

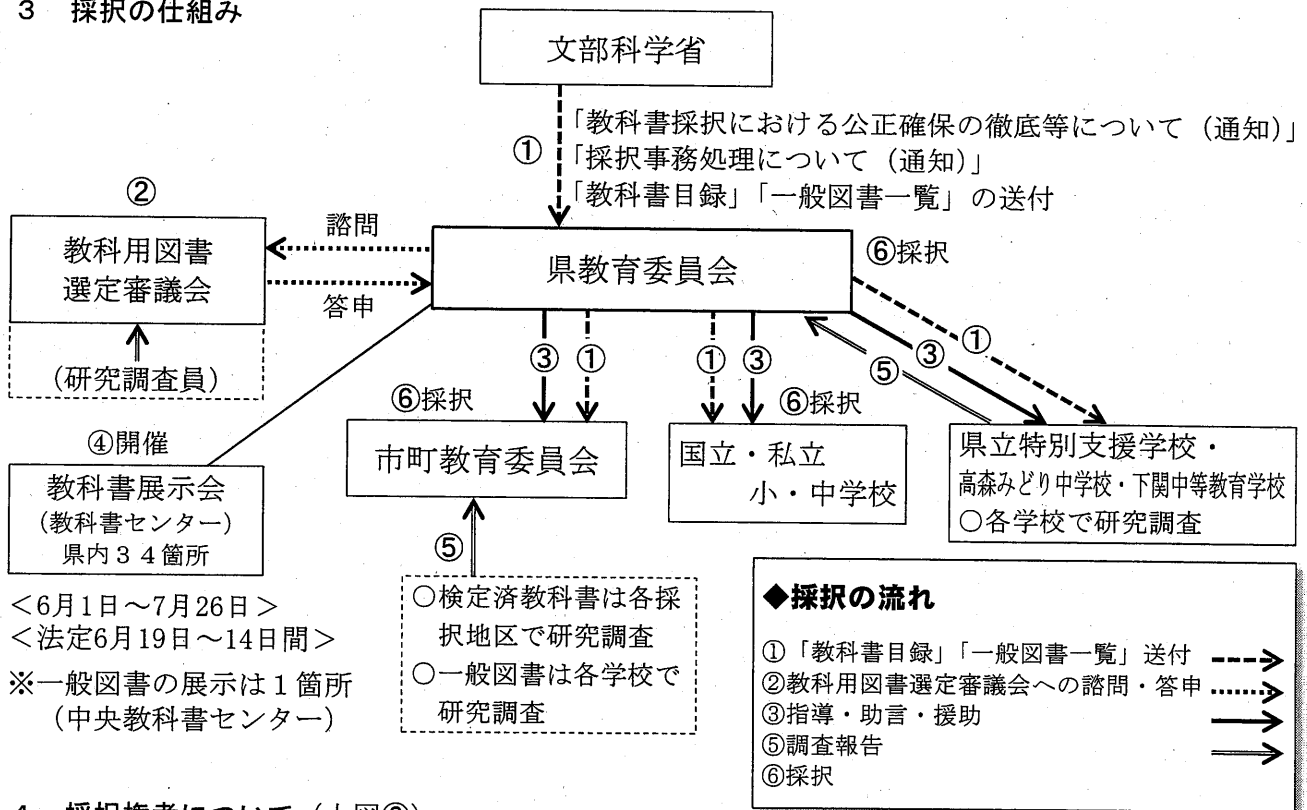
## 2 教科用図書の採択替え

- (1) 検定本…4年に一度 小学校…平成22年度、平成26年度  
中学校…平成23年度、平成27年度
- (2) 一般図書…毎年(児童生徒の状況に応じて適切な教科書を選ぶため)
- (3) 採択の周期 ※一般図書を除く

◎:検定 △:採択 ○:使用開始

学校 種別等区分	年度 西暦	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
小学校	検定	◎				◎			道徳◎				
	採択		△				△			道徳△			
	使用開始			○				○			道徳○		
中学校	検定		◎				◎			道徳◎			
	採択			△				△			道徳△		
	使用開始				○				○			道徳○	

## 3 採択の仕組み



## 4 採択権者について(上図⑥)

- \*市町立小・中学校…学校を設置する市町教育委員会
- \*県立特別支援学校…県教育委員会
- \*県立高森みどり中学校・下関中等教育学校…県教育委員会
- \*国立・私立小・中学校…各学校の校長



## 報告事項

番号	件名	主管課
1	平成28年度全国学力・学習状況調査の実施について ※別冊資料	義務教育課
2	平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査等得点状況について	高校教育課



平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査等得点状況について

高校教育課

1 学力検査について

- (1) 実施日時 平成28年3月8日(火) 午前9時から午後3時まで
- (2) 実施教科 国語、社会、数学、理科及び英語
- (3) 実施時間 各教科とも50分
- (4) 配点 各教科50点満点

2 学力検査得点状況について

- (1) 教科別の平均点 国語 30.7点、社会 31.3点、数学 26.1点、理科 28.1点、英語 24.6点
- (2) 「得点の合計」の平均点 140.8点(最高点 239点)
- (3) 「得点の合計」の分布状況 別紙のとおり

※ 入学者選抜実施状況については、別紙のとおり

3 学力検査の結果について

別紙のとおり

4 学校指定教科検査について

- (1) 実施日時 平成28年3月8日(火) 午後3時20分から
- (2) 実施教科 国語、数学及び英語のうち、学校が指定した教科
- (3) 実施時間 1教科実施は20分、2教科実施は40分、3教科実施は60分
- (4) 配点 各教科20点満点

5 学校指定教科検査得点状況について

- (1) 教科別の平均点 国語 9.3点、数学 10.6点、英語 9.5点  
注 複数教科実施の場合、検査時間内での各教科の時間配分については、受検者の任意であるため、平均点は参考として示したものである。
- (2) 3教科全てを受検した者の得点の平均点 29.7点(最高点 58点)
- (3) 得点の分布状況 別紙のとおり

6 学校指定教科検査の結果について

別紙のとおり

## 平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査得点状況

### 1 受検者数及び教科別得点状況

受検者数	7,436 (7,834)					
教科名	国語	社会	数学	理科	英語	得点の合計
平均点	30.7 (35.2)	31.3 (28.7)	26.1 (26.2)	28.1 (27.7)	24.6 (29.9)	140.8 (147.7)
最高点	49 (50)	50 (49)	50 (50)	50 (50)	50 (50)	239 (239)
最低点	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)

- 注1 全教科を受検した者について集計したものである。  
 2 各教科とも50点満点、「得点の合計」は250点満点である。  
 3 ( )内の数値は、昨年度のものである。

### 2 「得点の合計」の分布状況

得点範囲 [点]	人数 [人]	割合 [%]
241 ~ 250	0	0.0
231 ~ 240	15	0.2
221 ~ 230	109	1.5
211 ~ 220	240	3.2
201 ~ 210	371	5.0
191 ~ 200	469	6.3
181 ~ 190	494	6.6
171 ~ 180	532	7.2
161 ~ 170	567	7.6
151 ~ 160	573	7.7
141 ~ 150	537	7.2
131 ~ 140	486	6.5
121 ~ 130	499	6.7
111 ~ 120	485	6.5
101 ~ 110	458	6.2
91 ~ 100	404	5.4
81 ~ 90	352	4.7
71 ~ 80	303	4.1
61 ~ 70	215	2.9
51 ~ 60	137	1.8
41 ~ 50	111	1.5
31 ~ 40	41	0.6
21 ~ 30	27	0.4
11 ~ 20	7	0.1
0 ~ 10	4	0.1
合 計	7,436	100

注 割合は、小数第2位を四捨五入したものである。

平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜実施状況

(注) Bの「推薦入学合格者数」における\*の数値は、高森高校においては、高森みどり中学校からの入学者数(36人)を、周防大島高校(普通科・地域創生科)においては、連携型入学者選抜合格者数(普通科32人、地域創生科2人)を含む。  
Fの「第一次募集合格者数」は、推薦入学等合格者数を含む。

学校名	学科名	入学定員	推薦入学合格者数	第一次募集定員	第一志願者数	受検者数 (欠席者は含まない。)	第一次募集合格者数	空き定員 第二次募集 募集定員	第二次募集 第一志願者数	第二次募集 合格者数	第一次募集 及び 第二次募集 合格者数 J=F+I
		A	B	C=A-B	D	E	F	G	H	I	J=F+I
周防大島	普通	75	* 37	38	16	16	51	24	6	5	56
	地域創生	40	* 8	32	13	12	18	22	3	3	21
岩国	普通	240	—	240	235	226	235	5	2	1	236
	理数	40	12	28	47	44	40	0	—	—	40
坂上分校	普通	30	3	27	18	18	20	10	4	3	23
広瀬分校	普通	25	1	24	16	16	16	9	3	3	19
岩国総合	総合学科	120	54	66	83	80	120	0	—	—	120
高森	普通	105	* 66	39	45	43	105	0	—	—	105
岩国商業	総合ビジネス	80	40	40	53	52	80	0	—	—	80
	国際情報	40	20	20	30	27	40	0	—	—	40
岩国工業	機械	35	18	17	24	21	35	0	—	—	35
	電気	35	16	19	26	21	35	0	—	—	35
	都市工学	35	15	20	48	47	35	0	—	—	35
	システム化学	35	18	17	44	44	35	0	—	—	35
柳井	普通	150	30	120	128	120	147	3	2	0	147
柳井商工	ビジネス情報	70	29	41	44	40	64	6	22	6	70
	機械	35	16	19	31	30	35	0	—	—	35
	建築・電子	35	10	25	34	31	35	0	—	—	35
熊毛南	普通	105	27	78	75	72	93	12	23	12	105
田布施農工	生物生産	35	13	22	42	41	35	0	—	—	35
	食品科学	35	14	21	32	31	35	0	—	—	35
	環境土木	35	3	32	43	43	35	0	—	—	35
	機械制御	35	6	29	63	63	35	0	—	—	35
光	普通	140	37	103	131	125	140	0	—	—	140
光丘	総合学科	120	39	81	112	112	120	0	—	—	120
下松	普通	200	30	170	185	169	197	3	2	1	198
華陵	普通	80	24	56	59	55	80	0	—	—	80
	英語	40	16	24	30	28	40	0	—	—	40
下松工業	システム機械	40	14	26	45	43	40	0	—	—	40
	電子機械	40	13	27	36	36	40	0	—	—	40
	情報電子	40	5	35	46	44	40	0	—	—	40
	化学工業	40	5	35	55	54	40	0	—	—	40
熊毛北	普通	35	3	32	36	34	35	0	—	—	35
	ライフデザイン	35	14	21	20	20	33	2	1	1	34
徳山	普通	280	—	280	247	238	250	30	25	14	264
	理数	40	8	32	49	48	40	0	—	—	40
徳山北分校	普通	30	0	30	21	21	9	21	6	2	11
鹿野分校	普通	30	1	29	10	10	7	23	1	1	8
新南陽	普通	145	51	94	150	149	145	0	—	—	145
徳山商工	総合ビジネス	40	20	20	30	30	40	0	—	—	40
	情報ビジネス	40	20	20	32	32	40	0	—	—	40
	機械	40	6	34	32	28	35	5	15	5	40
	電子情報技術	40	4	36	42	40	40	0	—	—	40
	環境システム	40	14	26	36	35	40	0	—	—	40
南陽工業	機械システム	40	20	20	50	47	40	0	—	—	40
	電気	40	5	35	31	31	40	0	—	—	40
	応用化学	40	8	32	33	33	40	0	—	—	40

平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜実施状況

(注) Bの「推薦入学合格者数」における\*の数値は、高森高校においては、高森みどり中学校からの入学者数(36人)を、周防大島高校(普通科・地域創生科)においては、連携型入学者選抜合格者数(普通科32人、地域創生科2人)を含む。  
Fの「第一次募集合格者数」は、推薦入学合格者数を含む。

学校名	学科名	入学定員	推薦入学合格者数	第一次募集募集定員	第一志願者数	受検者数 (欠席者は含まない)	第一次募集合格者数	空き定員 第二次募集募集定員	第二次募集第一志願者数	第二次募集合格者数	第一次募集及び第二次募集合格者数 J=F+I
		A	B	C=A-B	D	E	F	G	H	I	J=F+I
防府	普通	240	—	240	306	287	240	0	—	—	240
	衛生看護	40	10	30	47	47	40	0	—	—	40
佐波分校	普通	40	2	38	12	12	9	31	4	2	11
防府西	総合学科	160	64	96	160	159	160	0	—	—	160
防府商工	商業	120	48	72	99	99	120	0	—	—	120
	情報処理	40	12	28	40	39	40	0	—	—	40
	機械	80	23	57	76	73	80	0	—	—	80
山口	普通	280	—	280	341	340	280	0	—	—	280
	理数	40	12	28	55	55	40	0	—	—	40
徳佐分校	普通	40	1	39	31	30	26	14	5	1	27
山口中央	普通	200	20	180	240	226	200	0	—	—	200
西京	普通	160	24	136	198	194	160	0	—	—	160
	体育コース	40	22	18	11	11	35	5	12	5	40
	総合ビジネス	40	8	32	35	35	40	0	—	—	40
	情報処理	40	11	29	43	42	40	0	—	—	40
山口農業	生物生産	40	20	20	55	54	40	0	—	—	40
	食品工学	40	4	36	45	45	40	0	—	—	40
	生活科学	40	20	20	42	42	40	0	—	—	40
	環境科学	40	11	29	47	46	40	0	—	—	40
宇部	普通	200	—	200	299	292	200	0	—	—	200
	理数	40	12	28	36	24	40	0	—	—	40
宇部中央	普通	160	42	118	131	127	160	0	—	—	160
宇部西	総合学科	160	17	143	195	192	160	0	—	—	160
宇部商業	商業	120	54	66	88	85	120	0	—	—	120
	総合情報	40	10	30	25	24	40	0	—	—	40
宇部工業	機械	40	16	24	33	28	40	0	—	—	40
	電子機械	40	15	25	45	37	40	0	—	—	40
	電気	40	15	25	38	36	40	0	—	—	40
	化学工業	40	12	28	43	43	40	0	—	—	40
小野田	普通	160	48	112	155	132	160	0	—	—	160
厚狭	普通	105	20	85	69	68	85	20	12	8	93
	総合家庭	40	14	26	26	26	36	4	3	2	38
小野田工業	機械	40	12	28	59	58	40	0	—	—	40
	電子情報	40	7	33	61	60	40	0	—	—	40
	化学工業	40	2	38	51	51	40	0	—	—	40
美祢青嶺	普通	70	12	58	32	32	41	29	2	2	43
	機械	30	5	25	24	24	18	12	5	1	19
	電気	30	1	29	14	14	12	18	4	3	15



平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜実施状況

(注) Bの「推薦入学合格者数」における\*の数値は、高森高校においては、高森みどり中学校からの入学者数(36人)を、周防大島高校(普通科・地域創生科)においては、連携型入学者選抜合格者数(普通科32人、地域創生科2人)を含む。  
Fの「第一次募集合格者数」は、推薦入学合格者数を含む。

全日制

学校名	学科名	入学定員	推薦入学合格者数	第一次募集募集定員	第一志願者数	受検者数 (欠席者は含まない)	第一次募集合格者数	空き定員 第二次募集募集定員	第二次募集第一志願者数	第二次募集合格者数	第一次募集及び第二次募集合格者数 J=F+I
		A	B	C=A-B	D	E	F	G	H	I	J
田部	普通	40	11	29	28	28	36	4	3	2	38
	総合生活	40	10	30	27	27	35	5	0	0	35
西市	普通	30	3	27	20	19	16	14	10	7	23
	生産流通	30	9	21	25	25	30	0	—	—	30
豊浦	普通	180	54	126	140	128	180	0	—	—	180
	総合学科	140	51	89	86	84	131	9	10	9	140
下関西	普通	200	—	200	216	214	200	0	—	—	200
	理数	40	16	24	15	15	40	0	—	—	40
下関南	普通	140	42	98	121	116	140	0	—	—	140
	響	70	19	51	98	98	70	0	—	—	70
豊北	普通	60	15	45	28	27	40	20	7	7	47
下関工科	機械工学	80	32	48	70	66	80	0	—	—	80
	電気工学	70	18	52	52	51	69	1	5	1	70
	建設工学	40	14	26	32	32	40	0	—	—	40
	応用化学工学	35	1	34	26	26	33	2	8	2	35
大津緑洋	普通	90	14	76	92	91	90	0	—	—	90
	生物生産	25	3	22	23	22	24	1	0	0	24
	生活科学	25	4	21	18	18	23	2	0	0	23
	海洋技術	25	7	18	30	28	25	0	—	—	25
	海洋科学	25	2	23	10	10	17	8	3	3	20
萩	普通	120	—	120	93	92	92	28	0	0	92
	理数	30	12	18	18	18	30	0	—	—	30
奈古分校	総合学科	40	5	35	21	21	25	15	0	0	25
萩商工	総合ビジネス	35	16	19	13	13	29	6	0	0	29
	情報デザイン	35	14	21	17	17	31	4	0	0	31
	機械・土木	35	16	19	23	23	35	0	—	—	35
	電気・建築	35	13	22	16	16	31	4	0	0	31
下関商業	商業	170	68	102	176	175	170	0	—	—	170
	情報処理	30	9	21	22	21	30	0	—	—	30
全日制	計	8,195	1,917	6,278	7,571	7,310	7,764	431	208	112	7,876

平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜実施状況

定時制

学校名等	学科名	入学定員	第一志願者数	受検者数	第一次募集合格者数	空き定員 第二次募集 募集人員	第二次募集 第一志願者数	第二次募集 合格者数	合格者数 第一次募集及び 第二次募集
		A	B	C <small>(次席者は含まない)</small>	D	E=A-D	F	G	H=D+G
岩国商業 (東分校)	普通昼間部	40	34	33	23	17	5	3	26
	普通夜間部	40	6	5	4	36	1	2	6
光	普通	40	2	2	2	38	5	3	5
下松工業	機械	40	3	3	2	38	10	5	7
徳山	普通	40	14	11	8	32	2	1	9
防府商工	普通	40	9	9	6	34	7	1	7
山口	普通	40	17	15	7	33	0	0	7
宇部中央	普通	40	20	20	21	19	4	2	23
宇部工業	機械	40	9	9	5	35	3	2	7
小野田	普通	40	6	6	5	35	4	2	7
厚狭	商業	40	2	2	1	39	2	2	3
小野田工業	機械	40	0	0	4	36	6	4	8
下関西	普通	40	21	17	16	24	5	2	18
下関工科	機械	40	4	3	2	38	3	2	4
下関商業	商業	40	1	1	2	38	4	2	4
定時制 計		600	148	136	108	492	61	33	141

平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

平成28年4月  
山口県教育委員会



## 平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

### 1 出題の概要

平成28年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。

### 2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、平素の学習の成果がよく表れていた。
- 表やグラフなどの資料から分かったことをまとめて適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と生活場面・実社会との関連を考えながら学習することにより、学ぶことの意義や有用性を実感し、学習に対する興味・関心を高めることが必要である。また、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を更に身に付けていくことが大切である。

## 国語

### 1 出題の特徴

- 基本的な語句の知識を問う問題に加え、登場人物の考えや表現の特徴を読み取る問題を出題した。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 話し合いの内容を記録した文章を読み、「言葉の力」について自身の体験にふれながら作文する問題を出題した。

### 2 結果の概要

- 漢字の読み書きや古文・漢文を読む上での基礎的・基本的な知識を問う問題については、よくできていた。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を自分の知識と結び付けて、適切に表現する力をみる問題については、いま一歩であった。
- 作文については、課題を適切に捉えることができていないものも多く、必ずしも十分とはいえなかった。

### 3 課題がみられた問題例

#### 《問題例①》

二 〈問題文は、田中修「植物はすごい 七不思議篇」から。ここでは省略。〉

(七) 「きびしい寒さに耐えねばならない」のはなぜか。その理由を、文章の内容に即して、五十字以内で具体的に説明しなさい。

**正答例** ツボミが寒さを感じることによって、開花を抑制する物質であるアブシシン酸が分解されて消失するから。

#### 【解答の状況】

- 「春に花を咲かせるために、花が散りやすい冬は特に寒さに耐えねばならないから」のように、文章中の表現に即した具体的な説明がない解答が多くみられた。

#### 【課題】

文章の展開を的確に読み取り、与えられた条件に従って、適切にまとめること。

## 《問題例②》

三 〈問題文は、「花月草紙」から。ここでは省略。〉

(四) 授業で右の古文を学習したAさんは、この話の内容には、「灯台下暗し」ということわざに通じるものがあると考えた。Aさんは、本文のどのような内容からそのように考えたのか。四十字以内で答えなさい。

**正答例** よく物を記憶して忘れない人が、いつも見ている自分の庭の様子を忘れていたこと。

### 【解答の状況】

- 古文の内容にふれられず、ことわざの意味のみを説明した解答がみられた。
- 解答の糸口が見いだせず、無関係な内容を書いた解答や無答が多かった。

### 【課題】

様々な古文に親しみ、理解を深めるとともに、読み取った内容について、自分の知識や体験と関連付けて思考を深めること。

## 4 今後の学習指導に向けて

### ○ 文章の展開に即して内容を的確に捉える力の育成

文章の中心的な部分と付加的な部分、具体的事例や筆者の意見などを読み分けることや、文脈の中における語句の意味を正確に理解し、指示語や抽象的な概念を表す語、言い換えなどに注意しながら文章の内容を的確に捉えることができるようにする。

### ○ 理解した内容を適切に表現する力の育成

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、言語だけでなく、図表や絵などを含めた様々な情報を活用して、目的や場面に応じた適切な言葉で自分の考えを表現できるようにする。

### ○ 語彙を豊かにし、思考力を養う活動の充実

読書の幅を広げることで語彙を豊かにするとともに、古典を含む様々な文章を読み比べて、構成や表現の仕方について考えたり、自分の意見をまとめたりしながら思考力を養う。

## 社会

### 1 出題の特徴

- 身の回りの社会的事象に関心をもって学習を進め、基礎的・基本的な知識や概念を理解しているかをみる問題を出題した。
- 作業的・体験的な学習の場面を設定し、学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題を出題した。
- 様々な資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題を出題した。

### 2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解をみる問題については、おおむね良好であったが、一部に課題もみられた。
- 学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題については、おおむね良好であった。
- 資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。

### 3 課題がみられた問題例

#### 《問題例①》

- 1 (略)
- (1) 図Ⅰ中のXの港を1492年8月に出発し、同年10月に図Ⅱ中のY付近の島に到達した人物は誰か。答えなさい。

**正答** コロンブス

#### 【解答の状況】

- マゼラン、バスコ・ダ・ガマなどの誤答が多くみられた。

#### 【課題】

時代や地域の特徴を理解する上で必要となる基礎的・基本的な知識や概念を確実に身に付けること。



## 《問題例②》

3 (略)

- (1) A には、衆議院と参議院のどちらの語が入るか、適切なものを答えなさい。また、それを選んだ理由を、メールの内容からわかる情報を用いて説明しなさい。

**正答例** A に入る語 ( 衆議院 )  
理由 27歳で当選しているから。

### 【解答の状況】

- A に入る語を、参議院と答え、理由を「衆議院は比例代表制がないから」や「衆議院の被選挙権は30歳であるから」とするなどの誤答が多くみられた。

### 【課題】

様々な社会的事象に対して、学習した知識を活用して、多面的・多角的に思考・判断し、適切に表現すること。

## 4 今後の学習指導に向けて

### ○ 基礎的・基本的な知識や概念の確実な習得

時事的な話題や身近な生活体験などを通して社会的事象に対する関心を高め、社会科の学習を深める上での基礎的・基本的な知識や概念が確実に身に付くようにする。

### ○ 様々な資料を活用して多面的・多角的に思考し判断する力の育成

地図、年表、写真、新聞、統計などの資料に平素から親しみ、内容を正しく読み取るとともに、読み取った内容を他の情報と関連付けて思考し、公正に判断する力を育成する。

### ○ 作業的・体験的な学習活動を通して適切に表現する能力と態度の育成

観察や調査を実施し、その過程と結果を報告書にまとめ、発表するなど、問題解決的な学習活動の充実を図ることなどにより、考察し判断したことを適切に表現する能力と態度を育成する。

# 数 学

## 1 出題の特徴

- 事象の中に数量や図形の関係を見だし、数学的な表現を用いて説明する問題を出題した。
- 図やグラフの中から情報を読み取り、事象を数学的に解釈して解決する問題を出題した。
- 身近にあるものを題材として、数学的に考察し処理する中で、様々な領域の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

## 2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識・技能に関する問題については、よくできていた。
- 見いだしたことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて説明する問題については、いま一步であった。
- 論理的に考えたり、柔軟に思考したりする力をみる問題については、無答が多く、いま一步であった。

## 3 課題がみられた問題例

### 《問題例①》

- 9 Sさんの中学校では、40人の小学生を招き、交流会を開くことになった。この交流会の内容として、部活動紹介、長縄跳び、扇子づくり、竹とんぼづくりを予定している。
- (3) 小学生40人全員を、扇子づくりの班と竹とんぼづくりの班に分けることにした。材料費は1人あたり、扇子づくりが450円、竹とんぼづくりが250円である。40人全員の材料費の合計を13000円とするとき、扇子づくりの班の人数を $x$ 人、竹とんぼづくりの班の人数を $y$ 人として連立方程式をつくり、扇子づくりの班と竹とんぼづくりの班の人数をそれぞれ求めなさい。

正答

$$\text{式} \begin{cases} x + y = 40 \\ 450x + 250y = 13000 \end{cases}$$

扇子づくりの班の人数 15人、竹とんぼづくりの班の人数 25人

### 【解答の状況】

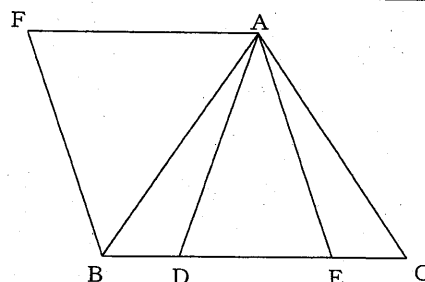
- 連立二元一次方程式をつくることはできていたが、その連立方程式の解を求めることができていない解答が多くみられた。

### 【課題】

加減法や代入法を用いて、連立二元一次方程式から適切に解を導くこと。

《問題例②》

7 右の図のように、 $AB = AC$ の二等辺三角形 $ABC$ の辺 $BC$ 上に、2点 $D, E$ があり、 $BE = CD$ である。また、四角形 $AFBE$ は、平行四辺形である。



(2)  $AF = 3\text{ cm}$ ,  $BF = 3\text{ cm}$ ,  $BD = 1\text{ cm}$ のとき、四角形 $AFBC$ の面積を求めなさい。

【考え方】

- ①  $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ を確認する。
- ② 四角形 $AFBE$ が平行四辺形より、 $DE = 2\text{ cm}$ 、 $AE = 3\text{ cm}$ 、 $CE = 1\text{ cm}$ を求める。
- ③  $\triangle ADE$ が二等辺三角形であることを確認する。
- ④ 頂点 $A$ から辺 $BC$ に垂線 $AG$ をひき、 $AG = 2\sqrt{2}\text{ cm}$ を求める。
- ⑤  $AG$ の長さを用いて四角形 $AFBC$ の面積を求める。

正答  $7\sqrt{2}\text{ cm}^2$

【解答の状況】

- $\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ が合同であることや、 $\triangle ADE$ が二等辺三角形であることをどのように活用するかなどの解決の糸口を見付けることができないなどにより、無答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を活用し、論理的に筋道を立てて考察すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着

第3学年で関数 $y = ax^2$ を学習する際に、第1学年で学習した比例、反比例や第2学年で学習した一次関数を取り上げ、それらと比較することで関数の理解を深めるなど、関連する内容を意図的に再度取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図る。

○ 言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力の育成

根拠を明らかにし筋道を立てて説明し伝え合う活動を取り入れながら、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力を育成する。

○ 事象を数学的に表現する力の育成

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、数学を利用することの意義を実感できるようにするとともに、数学的に表現する力を育成する。

# 理科

## 1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な概念や原理・原則を理解しているかをみる問題を出題した。
- 観察、実験を目的意識をもって行い、得られた結果を科学的に考察し、表現できるかをみる問題を出題した。
- 自然の事物・現象を客観的に捉え、合理的に判断し、筋道を立てて考察できるかをみる問題、理科において学習した様々な分野の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

## 2 結果の概要

- 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項に関する問題や観察、実験の技能を問う問題については、よくできていた。
- 観察、実験で得られた結果を基に考察し判断する問題については、いま一步であった。
- 観察、実験の目的等を問う問題については、必ずしも十分ではなかった。

## 3 課題がみられた問題例

### 《問題例①》

7

[実験]

③ 図2のように、ばねAに20gのおもりを1個つるし、ばねAののびを測定した。

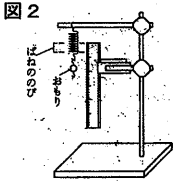


図2

(1) 図4は、[実験]の③でばねAにおもりを1個つるしたときの様子を模式的に表したものである。おもりにはたらく力を図4に矢印ですべてかきなさい。ただし、図4の1目盛りを0.1Nとする。

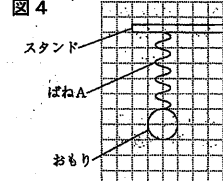


図4

スタンド

ばねA

おもり

正答

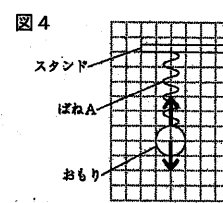


図4

スタンド

ばねA

おもり

### 【解答の状況】

- ばねがおもりを引く力をかいていない解答が多くみられた。

### 【課題】

学習内容を身近な事物・現象と関連付けながら、多面的、総合的な見方を身に付けること。

《問題例②》

9 どんな金属にも抵抗があることに興味をもったYさんは、金属線の抵抗について調べることにした。Yさんは、見通しをもって調べるために、金属線の抵抗について次の仮説をたてた。

[仮説Ⅰ] 金属線の長さが変わると抵抗も変わるのではないか。

[仮説Ⅱ] 金属線の太さが変わると抵抗も変わるのではないか。

[用意した金属線]

種類：ニクロム線

太さ(直径)：0.1mm, 0.2mm, 0.3mm, 0.4mm, 0.5mm

長さ：各10m

[仮説Ⅰ] の検証

<準備>

太さが0.1mmの金属線を、1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0mの長さにそれぞれ切断し、金属線A, B, C, D, Eとした。

(4) Yさんは、[仮説Ⅰ] の検証で行った実験と同じ手順で、[仮説Ⅱ] の検証を行うことにした。[仮説Ⅱ] の検証では、金属線Aはかえずに、金属線B～Eを[用意した金属線] から新たに切り出した金属線B'～E'にかえて実験することとする。正しく検証するためには、金属線B'～E'の太さと長さはどのように準備すればよいか。それぞれ書きなさい。

正答例

	B'	C'	D'	E'
太さ	0.2mm	0.3mm	0.4mm	0.5mm
長さ	1.0m	1.0m	1.0m	1.0m

【解答の状況】

○ 金属線の「太さ」だけではなく、「長さ」もかえた解答が多くみられた。

【課題】

観察、実験において、課題解決の方法も含め、自ら工夫して取り組むこと。

4 今後の学習指導に向けて

○ **科学的に探究する活動を取り入れた観察、実験の重視**

自然の事物・現象の中に課題を見だし、課題解決のために自ら観察、実験の計画を立て、条件設定を行うなど、目的意識をもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈する能力と態度を育成する。

○ **知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力の育成**

身近な自然現象、身の回りの生活用品、科学技術等を授業で取り上げ、理科の学習と日常生活や社会とを関連付けながら、学習を通して得られた知識・技能を活用して課題を解決する力を育成する。

○ **科学的に考察し表現する能力と態度の育成**

仮説を立てて観察、実験を行い、表やグラフの作成、モデルの活用、コンピュータなどの活用、レポートの作成や発表などを通して、科学的に考察し表現する能力と態度を育成する。

## 英語

### 1 出題の特徴

- リスニングテストでは、基礎的な事柄を扱い、「聞くこと」のほかに「話すこと」や「書くこと」を結び付けた、実際のコミュニケーションに近い能力をみる問題を出題した。
- 対話や物語などを読んで、日常的な会話表現を使う力、前後の流れから内容を判断して英語で適切に表現する力、文脈を正しく理解し、概要や要点を的確に捉える力を見る問題を出題した。
- 理解した内容について英語で発信する力を見るため、記号以外は英語による解答を求めることとした。

### 2 結果の概要

- リスニングテストでは、基礎的・基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力を見る問題は、よくできていた。少し長めの対話を聞き、概要や要点を捉えて英語で書く力を見る問題は、いま一歩であった。
- 資料を活用し、対話の流れに合う英文を書く問題は、対話の内容を踏まえていない解答が多く、いま一歩であった。
- 物語を読んで、英語の問いに対して適切な英語の選択肢を選ぶ問題については、おおむねできていた。

### 3 課題がみられた問題例

#### 《問題例①》

1 テスト3 〈問題文、【対話】は一部省略〉

(3) 次の英文が、対話の後に流れる問いに対する答えになるように、下線部(D)に適切な3語以上の英語を書きなさい。

She \_\_\_\_\_ (D) \_\_\_\_\_ every week.

【対話】

Judy: Great! When does she teach it?

Tetsuya: She has classes on three days every week in the morning: she has one class on Tuesday, one class on Friday and two classes on Saturday.

【対話の後に流れる問い】

How many *nihon buyo* classes does Tetsuya's grandmother teach every week?

正答例 teaches four classes

#### 【解答の状況】

- 対話の中で使われていた *three days* をそのまま使った解答が多くみられた。
- 情報を正確に聞き取れていない解答や無答が多くみられた。

#### 【課題】

対話を聞いて、情報を正しく理解し、場面に応じた内容を適切に表現すること。

《問題例②》

3

〈問題文、【対話】は一部省略〉

(4) 下線部(D)に、場面にふさわしい4語以上の英語を書きなさい。

【対話】

Jane: I've checked the numbers two, three, and five.

Miki: Now look at the items you haven't checked. You'll know what to do to make your life habits better.

Jane: All right. I'll try two things: I'll get enough sunlight when I get up in the morning, and            (D).

【生活習慣チェックリスト】

チェック欄(✓)	項目番号	チェック項目
	1	朝、起きたら太陽の光をしっかり浴びる
	2	朝食を規則正しく毎日とる
	3	定期的に適度な運動をする
	4	帰宅後は仮眠(短時間の睡眠)をとらない
	5	お風呂は早めに入る
	6	夕食後に何も食べない

**正答例** I won't eat anything after dinner

【解答の状況】

- 対話の流れを正しく読み取れず、チェックの付いた項目について解答しているものが多くみられた。

【課題】

文章を資料と関連付けながら正確に読み取り、その内容について、自分の考えを適切に英語で書くこと。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な事項の確実な定着**

基礎的・基本的な語彙や英文を学習する際に、単に暗記するのではなく、「聞く」「話す」「読む」「書く」という言語活動を適宜組み合わせるなどして、使い方を理解する経験を積み重ねることにより、確実な定着を図る。

○ **文脈に即して内容を読み取る力の育成**

一語一語の意味の確認、一文一文の解釈などの断片的な学習にとどまることなく、内容を日本語や英語でまとめる活動などを取り入れ、本文の概要や要点、筆者の心情などを文脈に即して読み取る力が身に付くようにする。

○ **情報が正しく伝わるように話したり書いたりする力の育成**

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「手紙、日記、スピーチの原稿を書く」などの自己表現活動の中で、自分の知っている語彙等を活用し、伝えたいことを相手に正しく伝わるように話したり書いたりする力を育成する。

平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜における学校指定教科検査得点状況

1 受検者数及び教科別得点状況

教科名	国語	数学	英語
受検者数	3,386 (3,609)	3,386 (3,709)	3,583 (3,810)
平均点	9.3 (13.3)	10.6 (6.3)	9.5 (8.3)
最高点	20 (20)	20 (20)	20 (20)
最低点	0 (0)	0 (0)	0 (0)

- 注1 複数教科実施の場合、検査時間内での各教科の時間配分については、受検者の任意であるため、平均点、最高点及び最低点は参考として示したものである。  
 2 各教科とも配点20点である。  
 3 ( )内の数値は、昨年度のものである。

2 3教科全てを受検した者の得点状況

(1) 受検者数及び得点状況

受検者数	3,386	(3,609)
平均点	29.7	(28.1)
最高点	58	(56)
最低点	1	(4)

- 注1 国語、数学及び英語の3教科全てを受検した者について集計したものである。  
 2 得点は60点満点である。  
 3 ( )内の数値は、昨年度のものである。

(2) 得点の分布状況

得点範囲 [点]	人数 [人]	割合 [%]
56 ~ 60	1	0.0
51 ~ 55	49	1.4
46 ~ 50	169	5.0
41 ~ 45	297	8.8
36 ~ 40	444	13.1
31 ~ 35	556	16.4
26 ~ 30	665	19.6
21 ~ 25	615	18.2
16 ~ 20	380	11.2
11 ~ 15	154	4.5
6 ~ 10	49	1.4
0 ~ 5	7	0.2
合計	3,386	100

- 注 割合は、小数第2位を四捨五入したものである。



平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜

学校指定教科検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

平成28年4月  
山口県教育委員会

## 平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜における 学校指定教科検査の結果について

### 1 出題の概要

平成28年度の学校指定教科検査の出題については、中学校学習指導要領に準拠しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をみるとともに、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などをみる問題を出題した。

#### 【国語】

実生活に即した文章などを基に思考し、目的や場面に応じて適切に表現する力をみる問題を出題した。

#### 【数学】

実生活の様々な場面で数学を利用して考察する力や、課題を解決するために構想を立て数学的な表現を用いて説明する力をみる問題を出題した。

#### 【英語】

場面に合った内容を適切に表現したり、自分の考えを読み手に正しく伝わるように書いたりするなど、実際のコミュニケーションを目的として英語を運用することができる力をみる問題を出題した。

### 2 結果の総評

目的に応じて必要な情報を取り出すことは、おおむねできていたが、取り出した情報を基に思考・判断し、適切な表現を用いて説明したり、課題を解決する方法を導き出したりすることに関しては、更に努力が必要な状況がみられた。

#### 【国語】

漢字の字義から語の意味を捉える力をみる問題はよくできていたが、与えられた条件に従って、内容を適切にまとめて表現する問題や、文脈を適切に読み取り、適切な内容を一語でまとめる問題については、十分ではなかった。

#### 【数学】

実生活の場面で規則性を見いだす問題は、おおむねできていたが、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明する問題については、いま一歩であった。

#### 【英語】

文脈に合う動詞を選び、時制等に応じて適切な語形に変えて答える問題はおおむねできていたが、自分の考えを読み手に正しく伝わるように書く問題については、いま一歩であった。

### 3 課題がみられた問題例

#### 《国語》

一

<問題文は、蜂屋邦夫・湯浅邦弘「老子×孫子『水』のように生きる」から。ここでは省略。>

(三)「非常にわかりやすいたとえです」とあるが、どのような点がわかりやすいのか。「水」、「抽象」という語を用いて説明しなさい。

**正答例** 上善という抽象的なものを、水という具体的なものにたとえて説明している点。

#### 【解答の状況】

○ 「最上の善なる在り方を水にたとえて抽象的に説明している点」や「水という抽象的なものを、人間にたとえている点」のように、「抽象」という語の表す意味や、具体的に指し示すものが理解できていない解答が多くみられた。

#### 【課題】

抽象的な概念を表す語句と、具体的な内容との関係性に注意して読むこと。

《数学》

2 P 駅と Q 駅を結ぶ鉄道があり、列車①は P 駅から Q 駅まで、列車②は Q 駅から P 駅まで運行する。

図 1 のグラフは、午前 9 時からの時間を  $x$  分、P 駅からそれぞれの列車までの距離を  $y$  km としたときの、 $x, y$  の関係を表したものである。このとき、線分 OA は列車①、線分 BC は列車②のグラフである。また、点 D は線分 OA と線分 BC の交点であり、点 D の  $x$  座標から、列車①と列車②がすれ違う時刻がわかる。

S さんと T さんは、列車①と列車②がすれ違う時刻を、それぞれ S さんの考え方、T さんの考え方で求めることにした。

T さんの考え方

図 1 をもとに、図形の性質を利用して考える。

図 2 のように、2 点 D, A から線分 OC に、それぞれ垂線 DE, AF をひく。

線分 OE の長さから、列車がすれ違う時刻がわかるので、 $\triangle OCD \sim \triangle ABD$ 、 $DE \parallel AF$  を使って、線分 OE の長さを求めるとよい。

図 1

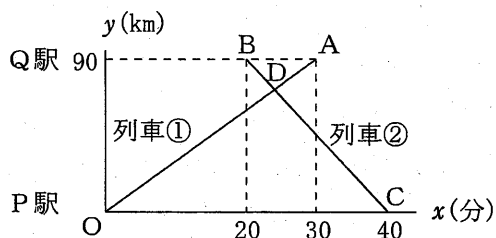
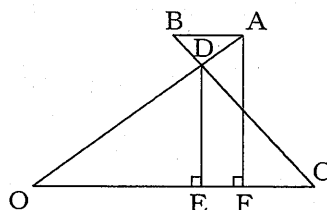


図 2



(2) T さんの考え方で、列車①と列車②がすれ違う時刻を求めなさい。ただし、答えを求める過程もかきなさい。その際、三角形の相似は証明せずに使ってよい。

**正答例**  $\triangle OCD \sim \triangle ABD$  であり  
 相似比は  
 $OC : AB = 40 : 10$   
 $= 4 : 1$   
 よって  
 $OD : DA = 4 : 1$   
 また、 $DE \parallel AF$  なので  
 $OE : EF = OD : DA$   
 $= 4 : 1$

よって  
 $OE = \frac{4}{5} OF$   
 $OF = 30$  だから、 $OE = 24$   
 したがって  
 求める時刻は午前 9 時 24 分である。

答え 午前 9 時 24 分

【解答の状況】

- 三角形の相似についての性質を活用することはできているものの、平行線と線分の比についての性質を活用できていない解答が多くみられた。
- 根拠が明らかでない解答や筋道立てて説明できていない解答も多くみられた。

【課題】

課題解決のために構想を立て、数学的な表現を用いて説明すること。

《英語》

3

〈【条件】は一部省略〉

あなたは、8月のある週末に、あなたの家にホームステイ中の留学生と一緒に家族で日帰り旅行に行くことになった。次は、その候補地についてまとめた表である。あなたは、その表を見ながら、留学生に、自分の行きたい候補地について意見を述べようとしている。その意見を、下の【条件】に従って書きなさい。

【候補地についてまとめた表】

項目	候補地	
	〇〇海岸 (〇〇 Beach)	〇〇の森 (〇〇 Forest)
ア 候補地までの移動手段	電車	自動車
イ 屋食の場所や方法	レストラン	野外炊飯
ウ 候補地での楽しみ方	海水浴	森の散策

【条件】

- ② 1文目に続けて、その候補地を選んだ理由を、もう1つの候補地よりも魅力的であることが分かるように、表中のア～ウから項目を1つ選び、その項目について書かれた両方の候補地の内容にふれながら書くこと。
- ④ 文と文のつながりを意識して、内容的にまとまりのある文章とすること。

正答例

I want to go to the Forest more.

After I swim in the sea, I feel tired. But when I walk in the cool forest, I feel good. Also we can see many kinds of birds and flowers.

【解答の状況】

- 行きたい候補地の選定理由のみを述べる解答が多くみられた。
- 文と文のつながりがなく、内容的にまとまりのない解答が多くみられた。

【課題】

自分の考えが読み手に正しく伝わるように、理由を明確に述べるとともに、接続詞を適切に用いて、まとまりのある一貫した文章を書く力を身に付けること。

#### 4 今後の学習指導に向けて

今後とも、学習内容と生活場面・実社会との関連を考えながら学習することにより、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を更に身に付けていくことが大切である。

##### 【国語】

様々な文章を読んで、構造や内容を的確に理解するとともに、文章や図表などから読み取った情報を活用し、日常生活の中で、目的や場面、条件に応じた適切な言葉で表現できるようにする。

##### 【数学】

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、見いだしたことや思考の過程、判断の根拠などを的確に表現したり、数学的に説明したりする力を育成する。

##### 【英語】

場面や状況に応じて適切な表現を使って話したり書いたりする活動を十分に行い、正確な表現が定着するようにするとともに、自分の考えや気持ち、事実などを適切に表現できる力が身に付くようにする。



